

レジテクトRT工法では、 超速硬化ウレタンの厚膜塗膜により 驚異の下地追従性を発揮

コンクリート構造物においては、雨水や地下水などの水、融雪剤や飛来塩および海水による塩分の浸透により鉄筋の腐食・発錆から爆裂欠損を誘発し構造物の強度を低下させます。トンネル内でのコンクリート塊落下事故や高架橋からのコンクリート片はく落事故等を受けて、発注者はコンクリートのはく落を防ぐために独自の基準を作成し、一斉に対策工事に取り組んでいます。当社ではこの様な問題点を解決するために、抗張力部材としての繊維を用いずに「性能規定」が満足できるコンクリート片はく落防止対策仕様「レジテクトRT工法」を開発いたしました。

RT工法の特徴

1 優れた施工性

吹付工法であるため、I桁のような複雑な下地形状に対しても馴染みやすく、従来工法の工期を大幅に短縮できます。

2 無溶剤樹脂

レジテクト100(R1)は、無溶剤で100%固形分のスプレーウレタンのため、厚膜施工が可能で肉痩がほとんどありません。

3 安定した塗膜物性

レジテクト100(R1)は、専用圧送機にて吹付け、数十秒で硬化するために、天候の影響をほとんど受けず低温作業も可能です。

4 優れた塗膜性能

レジテクト100(R1)は、高密度ウレタンであるために、押抜き試験に対する抗張力以外に塩化物イオンや炭酸ガス透過抵抗性も極めて高く躯体の劣化を抑制します。

工法 RT-1工法

Step 1



●施工前

Step 3



●レジテクト100(R1)吹付け

Step 2



●プライマー塗布

Step 4



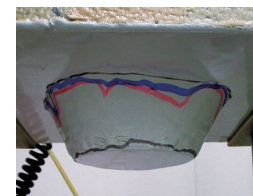
●トップコート塗布

Step 5



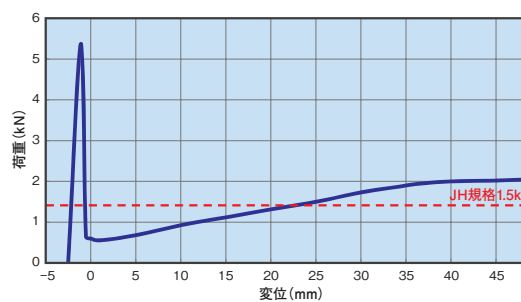
施工完了

抜群の性能 押抜き試験



繊維非挿入で、「1.5kN以上」を確保

押抜き試験 (変位荷重曲線イメージ)

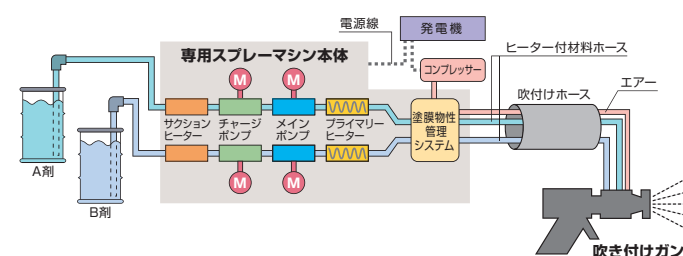


試験項目	評価基準	試験結果	
		RT-1工法	RT-2工法
押抜き試験	変位 10mm以上	50mm	50mm
	荷重 1.5kN以上	2.06kN	2.06kN

※試験温度：23℃

専用スプレーマシン

専用スプレーマシンは従来オペレーターの目視や経験に頼っていたマシンを温度・圧力・流量のデータをフィードバックし記録するだけでなく、自己診断し制御する【塗膜物性管理システム】を内蔵。施工品質に対して大きな信頼を得ることができます。



仕様

RT-1工法 (はく落防止、中性化・塩害防止)

工程	材料名	使用量 (/m ²)
1	レジプライマーPW-F (セメント添加)	0.2kg
2	レジテクト100 (R1)	1.5kg
3	レジトップ	0.15kg

※ロス率は含みません。

RT-2工法 (はく落防止、中性化・塩害防止)

工程	材料名	使用量 (/m ²)
1	レジプライマーPW-F (セメント添加)	0.2kg
2	レジテクトT-50N	0.5kg
3	レジテクト100 (R1)	1.2kg
4	レジトップ	0.15kg

※ロス率は含みません。